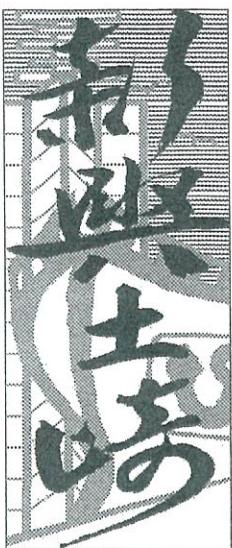




感謝状を受け取る
菅生さん(右)



一宮一十五日 月一回発行
編集・発行 加賀谷毅
住所 秋田市土崎港中央六丁目14-21
発行所 (有)加賀谷新聞店
電話 845-1416 FAX 857-4930
E-mail shinko-2@cna.ne.jp

高齢者を保護 菅生望さんに感謝状

「今後も積極的にトクシミノを起こしていただき」

20日、秋田臨港警察署にて高齢者の安全確保に貢献したグループホームひなたで介護職員として勤務している菅生望さん(秋田市居住)に感謝状が贈呈された。

7日午後9時頃、土崎港中央4丁目地内にてひなたきながら歩いていた70代の女性を発見。声をかけたところ道に迷っている事が判明し、菅生さんは保護した上で同署まで送り届けるなど適切な対応を行った。

同グループホームでは、徘徊高齢者の行方不明届けが提出された際に家族等の同意のもと秋田市や地域包括支援センターなどに情報提供を行い、地域で早期発見

見に努める『秋田市北部高齢者』がしてネットワークに加入しており、日常的に施設管理者が職員へと徘徊高齢者発見時の積極的な声かけを指導している。

菅生さんは「顔をかける時はとても緊張した。女性の方も驚いたと思う。体調などについて声をかけながら、本人の了解を得て住所がわかるものが得られないか確認したが見当たらなかつた。今回は偶然が重なつたから、対応することが出来たと思う。今後も、積極的に声をかけるなどのアクションを起こしていきたい。

佐々木薫署長は「よく声をかけてくれた。菅生さんの行動はとてもありがたく、事件・事故を未然防止にもつながつた。近年は徘徊や所在不明者が増えてきている。土崎は高齢者が多い地区なので重大な事案。有事のときは最大増員で早期発見・解決に努めている。車を止めて声をかけるとか難しい。介護という高齢者と関わる仕事のプロであるからこそできただいと思ひ話した。